



男子 5年 永田 (中島道場) 賜杯  
 女子5.6年 風間・安藤 (中島道場)  
 ☆☆☆☆☆ 二位 ☆三位 ☆☆☆☆☆

須藤 (高警少) 堂々ベスト 8

優勝  
 永田真隆選手



風間・安藤 (後列) 須藤 (前列)

# たそがれけんぱり

第 5 号  
 発行場所 高崎市石原町  
 高崎武道館内  
 発行責任者 剣道連盟 高崎支部  
 広報担当 上條

十一月三日文化の日  
 高崎市フェアリーランド・  
 カップピアで恒例の第三  
 二回群馬県青少年剣道練  
 成大会が開催されました。  
 通称カップピア大会と  
 呼ばれており剣道高崎  
 支部が毎年開催してい  
 る大会です。この文化  
 の日には、県下の剣道  
 好きは、カップピアで  
 子供達の剣道観戦ある  
 いは審判などの奉仕の  
 あとに全日本剣道選手  
 権の放映をじっくりテ  
 レビで観戦するのが大

## 第32回 河童ピア青少年 剣道錬成大会



基本錬成：角田先生

この日の参戦者は群馬  
 県全域、東は館林北は沼  
 田、西は松井田、そして  
 南は藤岡から。たとえ一  
 回戦で負けてしまっても  
 後は楽しい遊園地が待つ  
 ていると・・・それぞれ  
 大勢の少年少女剣士なん  
 と総勢八百人余の選手が  
 参加しまし  
 た。 天気 少

この日は観音さまの慈悲  
 の御手もあつたかもしれ  
 ない。  
 角田芳昭先生の指導に  
 よる準備体操の後、開会  
 式が開催されました。大  
 会会長群馬県剣道連盟会  
 長中島先生が「最近、い  
 ろんな犯罪を犯す若者達



大会挨拶：中島先生

が増えている。こんな中  
 で剣道が廃れてしまった  
 ら日本が減ってしまう。  
 なぜなら剣道は礼を重ん  
 じ、そして判断力と忍耐  
 を養うものだからだ。き  
 ちっとした判断力が身に  
 着いていないからいろいろ  
 と悪いことにつながっ

第32回群馬県少年剣道錬成大会成績表  
 男子：左 女子：右 (掲載は三位まで)

1年 優勝 宮下 恵輔 (新町剣道)	1・2年優 勝 齋藤 理奈 (板倉本町)
準優勝 松村 昌敏 (金島岱)	準優勝 松岡 優菜 (吉岡町剣)
第三位 森田 諭史 (愛武館)	第三位 齊藤 嘉穂 (笠懸水)
第三位 田島 侑真 (新町剣道)	第三位 高崎 礼奈 (若草剣道)
2年 優勝 坂本 竜雅 (愛武館)	3・4年優 勝 武政 純沙 (愛武館)
準優勝 柳 将司 (愛武館)	準優勝 上野 綾子 (桐生境野)
第三位 久保 友吾 (藤岡剣教)	第三位 川田 楓 (若草剣道)
第三位 丹生 匠 (群馬修道)	第三位 竹澤 由衣 (愛武館)
3年 優勝 平野 佑 (愛武館)	5・6年優 勝 石澤 友香 (藤岡剣教)
準優勝 三浦 雅也 (富士見剣)	準優勝 風間 祐里佳 (中島道場)
第三位 斎藤 誠太郎 (藤岡剣教)	第三位 安藤 雅英 (中島道場)
第三位 岡部 敦弥 (笠懸剣友)	第三位 齋藤 まどか (板倉尚武会)
4年 優勝 塩島 輝 (桐生境野)	
準優勝 井田 光 (愛武館)	
第三位 碓氷 典諒 (新田少年)	
第三位 小 龍 司 (県武道館)	
5年 優勝 永田 真隆 (中島道場)	
準優勝 大澤 裕也 (新田少年)	
第三位 高橋 正人 (県武道館)	
第三位 大澤 佑希 (新田少年)	
6年 優勝 平野 諒 (愛武館)	
準優勝 上野 敬正 (桐生境野)	
第三位 常塚 浩士 (桐生境野)	
第三位 川田 祥平 (若草剣道)	





てしまうし、わずかな忍耐ができずして一生を左右してしまうことになってしまふのです。今日は不断の稽古を十分發揮し、すばらしい試合ができるよう切に望みます。おわり。」とあいさつを述べられました。また会場を提供してくださった大会協賛者でもある榎高崎フエアリーランド朝倉社長が「正々堂々の試合を期待します。いい思い出が残るよう頑張ってください。また試合が終わった後は十分当ランドで楽しんでください」とあいさつをされました。



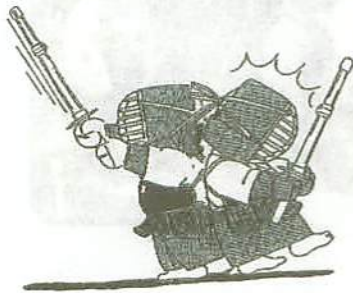
朝倉社長来賓挨拶

飯塚審判長の注意の後、伊勢崎、愛武館の平野諒選手の元気な選手宣誓が行われ、そのあと二十の試合場でそれぞれの試合が一斉に開始されました。普段とちがった、板床



愛武館：平野選手宣誓

ではない、コンクリートの試合場。選手全員スニーカーでの臨戦だ。大会開始の注意事項として藤木大会実行委員から「体当たりは普通の道場内では技の一つにもなり得ますが、本日はコンクリートの会場ですので選手はも



ちろん審判先生方も十分気を使っていたかと思いますが「安全を強調されまして。プールの中に設定され

た試合場は、南から北に傾斜が架かっていていつもと勝手が違いやりずらそうです。でもそこがまたおもしろいもの。武士（もののふ）の頃の立会



山下選手：金井道場

いはほとんどが野外での合戦、自然物の存在に応じた中での戦いであったのですから、ごくあたりまえのことなのです。高崎支部の子供達は総勢百四十名余の参加だ。



竹刀が曲がるほどの力強い打突：新高尾の選手



須田道場：長谷川選手

いたるところで奮闘しておりました。そんな中で、五年男子の部では中島道場の永田真隆選手が優勝しました。また女子五・六年の部で



あかだよ、赤だよ、アカ！ こわへい審判

同じく中島道場の風間・安藤の両選手がそれぞれ準優勝、三位に入賞しました。また高崎警察少年剣道教室の須藤岬選手も堂々ベスト8に輝きました。そのほか多くの高崎

の子供達が各試合場で熱戦を繰り広げました。閉会式は午後一時過ぎになりました。それぞれベスト8までの入賞者が表彰され賞状と景品が授



閉会挨拶：橋本支部長

与されました。景品の竹刀が一部取り違えの模様もありましたが、大会全体けが人もなく無事に終了し、橋本支部長が「一回戦や二回戦で負けてしまった人もまた一年間稽古を積んで来年再挑戦をしてください。」とあいさつされ、また大会実行委員の皆さんに対しねぎらいの言葉を述べられました。

大会行事すべて終了後は、子供たちはもちろん乗りたい放題、遊びたい放題、家へ帰れば宿題さねえ。運営陣は、事業終了後にきちっと総括。長井理



事長の音頭で市内四川館で反省会が開かれました。社会通念上これを打ち上げ式というが、堅い剣道



界では反省会ということになる。とにかく雨もふらず、けが人もなく本当に酔い一日でした。

反省会は酔いっぴりです。